

# 令和3(2021)年度環境学習出前授業の実施結果について

令和4(2022)年2月

栃木県環境森林部資源循環推進課

## 1 環境学習出前授業について

廃棄物処理施設に対する理解促進を目的に、県内の小学校を対象に、県と関係団体で制作した「廃棄物処理施設紹介動画」等を活用しながら、廃棄物が資源として再び生まれ変わる様子や廃棄物処理施設の役割等を分かりやすく説明し、環境に優しい循環型社会の形成について学べる授業を行いました。

- ・対象：県内の小学校
- ・講師：資源循環推進課職員、各環境森林（管理）事務所職員

## 2 実施結果

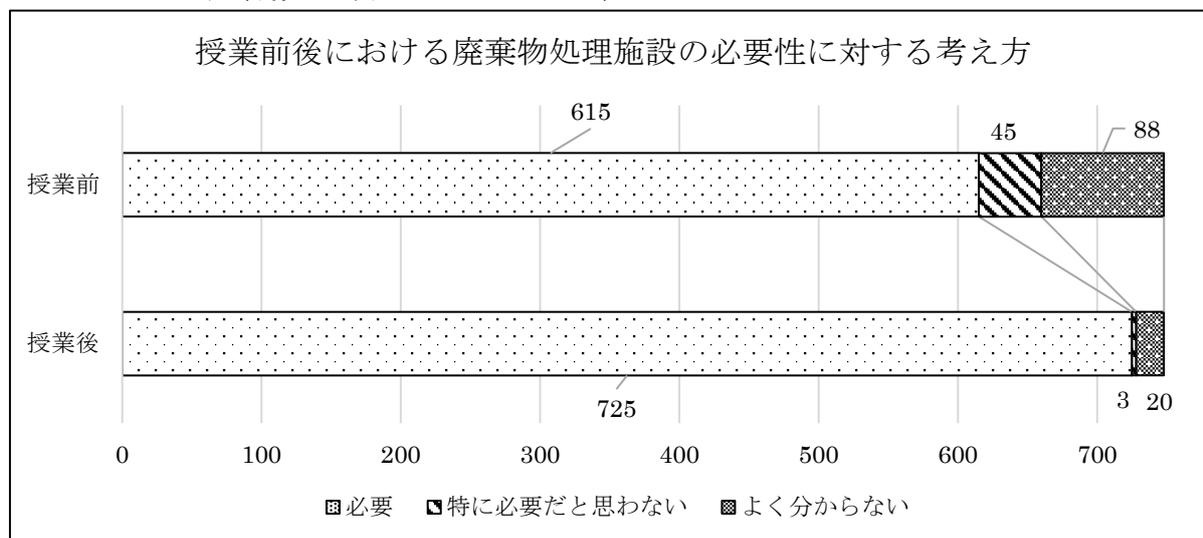
実施月	実施数	児童数	実施市町
6月	4校11クラス	308人	宇都宮市、足利市、栃木市、那須塩原市
7月	4校9クラス	260人	宇都宮市、小山市、那須塩原市
9月	1校3クラス	67人	足利市
11月	3校4クラス	95人	栃木市、佐野市、那須塩原市
12月	1校2クラス	53人	那須塩原市
合計	13校29クラス	783人	5市町
4学年	9校23クラス	593人	
5学年	4校6クラス	190人	

※児童数は、応募時のクラス在籍者数から算出

※このほか新型コロナウイルス感染症の感染拡大により授業の実施が出来なかったため、6校15クラス(387人)に対して授業資料の配付を行った。

## 3 授業後のアンケート結果

○アンケート回答数：計29クラス748名



○主な授業の感想

- ごみを処理することは、とても大切で必要なことだと分かった。
- ごみは色々なものにリサイクルできることが分かった。
- ペットボトルがユニフォームなどに、また生ゴミが肥料になることを初めて知ったので勉強になった。